

PICK UP LAB !

持続可能な未来をつくる

SDGs

×

崇城の研究力

宇宙航空システム工学科
宇宙航空システム専攻
〔下田研究室〕

水平離陸、水平着陸できる、
スペースブレーンの設計で
宇宙旅行も現実には？

水平離陸・着陸のスペースブレーンを用いた有人往還機
を念頭に、高度100km程度までの宇宙旅行を実現でき
るスペースブレーンの概念設計を行っています。



下田先生



山田さん

4年生 長崎県／長崎西高校出身

コストも環境負荷も
軽減できる
宇宙往還機をつくる！

研究室では、スペースブレーンの概念設計に取り組んでいます。従来の宇宙輸送システムでは、切り離した燃料タンクやエンジンが破壊されますが、複雑な打ち上げ設備を必要とせず機体を再使用するスペースブレーンでは、コストや環境負荷を軽減でき、厳しい訓練なく旅客や宇宙機輸送が可能となります。研究室で実験装置を作ったり学会で著名な研究者の声を聞いたり、憧れの宇宙の世界へ近づけている毎日です。